

令和4年度 上郷地区・末野原地区 わくわく事業 活動報告書

令和5年3月作成

○ 「わくわく事業」とは

地域の団体や市民活動団体などが実施する、住みやすい地域づくりのために取り組む事業に対し、補助金を交付する仕組みです。

この「わくわく事業 活動報告書」は、令和4年度に活動した上郷地区8団体、末野原地区7団体の2月時点の活動報告をまとめたものです。ぜひ、活動を知っていただき、地域ぐるみで応援をお願いします。

○ 活動団体

	団 体 名	ページ
上郷地区	緑野の会	1
上郷地区	上和会花くらぶ	3
上郷地区	畝部まちづくりの会	5
上郷地区	せせらぎ遊歩道愛護会	7
上郷地区	高嶺まちづくりの会	9
上郷地区	川田まちづくり	11
上郷地区	家下川リバーキーパーズ	13
上郷地区	キッズプランナー	15
末野原地区	元気の出る森づくりの会	17
末野原地区	豊栄町一区自治区 区誌編纂委員会	19
末野原地区	竹の会	21
末野原地区	渡刈町サポート会	23
末野原地区	おしかも ほたるの会	25
末野原地区	永覚新町お助け隊	27
末野原地区	永覚新町記念誌編集委員会	29

令和4年度 わくわく事業活動報告

団体名	緑野の会	
事業名	①三河上郷駅前広場美化事業並びに②うねべ里山事業	
会員数	17名	主要な活動場所 三河上郷駅前広場・うねべ里山
事業費(補助額)	180,000円 (162,000円)	
【主な使途】	①花苗代金1,400p(総額の62%)、肥料(11%)、②刈払機用替刃・混合油(8%)、その他共用(茶、ごみ袋、事務用品、ボランティア保険)19%	
事業目的	「豊かな自然環境が心豊かな人を育てる」を基調に、地域の環境保全に勤める。この活動を通して会員の生き甲斐作りを目指すと共に地域社会に貢献する。	
主な活動	<p>① <三河上郷駅前広場美化事業> 平成14年度から継続21年間。 <u>基本的活動</u>・年2回(5/20、10/21)花苗植え付け作業 合計1,400p ・毎月第3金曜日AM7:00～(12月～2月は8:00～)除草作業(年12回 延べ199人)</p> <p>② <うねべ里山事業> 平成18年度～継続17年間。(年8回 延べ122人) <u>基本的活動</u>・冬季10月、12月、1月、3月を除き、毎月第1水曜日AM7:00～(1時間～3時間)下草刈り、竹林整備、枯れ枝収集作業、遊歩道の保全作業、用水土手の除草作業。※2月のみ8:00～ ・6月、9月に全廃棄物撤去作業。 ・特別活動:10/5里山未整備未承認地の整備依頼が地権者からあり整備作業17人</p>	
活動の成果<表彰履歴2件>	5/28愛知県議会議長、11/26豊田社福協議会会長	
① <三河上郷駅前広場美化事業>	上郷地区の顔である駅前広場の花壇造成を行い、20年間市民に癒しの空間を造成して提供してきた。この活動を通して、駅の利用者や市民にたいして、美化意識の向上とボランティア活動への理解度を深めることに役立てたと感じる。また、当会が広場の冬季の安心安全を目的に始めた電飾事業は別に実行委員会を設立して事業を継承した。上郷地域の冬の風物詩として今年度17回を迎え好評である。	
② <うねべ里山事業>	隣接する柳川瀬公園との一体感が生まれ、多くのウォーキング愛好者からも喜ばれている。自然林らしい落ち着きと四季を感じさせる好ましい里山になった。里山東端に有る未整備エリアを整備後、気になっていた隣接する堤防地内の竹藪を1/20業者が伐採してくれすっきりした。	
課題	一番は会員数の維持である。振り返ると会が21年続けられたことが不思議に思える。R3年度、高齢化による本人や配偶者の病気が理由で退会者がでたが新規会員3名を補充できた。さらにR4年度2名が加わり近年で一番楽しく充実した活動ができた。自治区区長現職、又経験者などリーダー資質を持った会員の入会で会存続のための役員交代が可能になった。若い世代会員を軸に後継者の発掘。	
今後の取組	永年やっていると、ボランティア活動が生活のリズムに組み込まれ、仕事の内容にも精通しているので余り負担に感じられなくなる。21年間継続できたことを誇りとしてしっかり取り組む。この活動が健康長寿の秘訣だと囁かれる。	

緑野の会（環境保全ボランティアグループ）活動紹介

令和4年度 三河上郷駅前広場美化事業の活動記録



4/15 冬～春花壇古花撤去・耕起



5/20 夏～秋花苗植え付け作業



夏～秋花壇の情景



令和4年度 うねべ里山事業の活動記録



7/6 定期保全作業事例（竹林整備）



10/5 未整備エリアの整備作業の事例



わくわく事業活動報告

団体名	上和会花くらぶ		
事業名	上和会上屋敷交差点環境美化		
会員数	20名	主な活動場所	上和会上屋敷交差点角の空き地
事業費(補助額)	52,500円 (47,000円)		
【主な用途】	培養土、肥料、消毒薬、除草剤		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上和会上屋敷交差点の一角を花で飾り、景観をよくする。 ・ 四季を通じて花壇の管理をすることにより、地域住民との交流を深める。 ・ 地域住民や交差点を通るドライバーの心を和ませる。 		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の花の種まきから育苗。(4月～5月) ・ 春の花を抜いてから土作り、そして夏の花の植え付け。(5月～6月) ・ 翌年春の花の、種まきから育苗。(9月～10月) ・ 夏の花を抜いてから土作り、そして翌年春の花の植え付け。(10月～11月) ・ 一年を通じて、毎日花の手入れと水やり。 ・ 一年を通じて、敷地に植えてある花木の手入れ、敷地の草取り。 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上和会上屋敷交差点の一角を、ほぼ年間を通じて花壇の花で飾ることができた。 ・ 交差点を通るドライバーや歩行者に癒しを感じて頂けたと思う。 ・ 上和会自治区のウォーキングイベントのウォーキングコースに花壇を入れて頂き、地域との交流が深まった。 ・ 豊田市民花壇コンテスト」に応募し、上位入賞ができた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種から発芽させ丈夫な苗を育てるための、水と温度管理が難しい。 ・ 8月初旬の花壇コンテスト時期の花のきれいな状態を、10月のウォーキングイベントの時期まで保つのに苦労した。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助額を減らすため花の苗を購入ではなく、種まきから苗を作る方法を今後も続ける。 ・ 間伐材の丸太から作った花壇枠が老朽化のため、徐々に交換するための準備を始める。 ・ 豊田市民花壇コンテスト」への応募を続ける。 		

活動の様子



《 6月12日 夏の花の植付》



《 8月21日夏の花の手入れ》



《 8月4日夏花壇コンテスト 1位の状況》



《 10月1日幼苗をポットへ移植》



《 10月23日 花壇の土づくり》



《 11月5日 春の花パンジーの植付》



《 令和5年1月1日の花壇》

令和4年度わくわく事業活動報告

団体名	畝部まちづくりの会		
事業名	畝部まちづくりの事業		
会員数	42名	主な活動場所	畝部地域内
事業費（補助額）	714,048円（607,000円）		
「主な用途」	上中通学路及び県道の美化活動、広報誌作成、畝部フェスタ & 防災フェスタ in 柳川瀬の開催、ふれあいマレットゴルフ大会		
事業目的	<p>①安全で安心な町づくりを推進する。</p> <p>②疎遠になりがちな地域の人々の交流の場を設ける。</p> <p>③高齢化に対応する事業を推進する。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上郷中学校の通学路の美化活動及び県道の不法投棄物回収。 ・ 畝部まちづくりの会活動を、地域住民に知っていただくために、広報誌を作成配布（年2回ホームページの作成運用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 畝部フェスタ & 防災フェスタ in 柳川瀬マレットゴルフ大会を開催する。 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上中通学路の美化活動が進む。住民の関心が高まる。 ・ 地域住民どうしの絆が深まる。 ・ まちづくりの会の活動内容が地域住民に知らせることができた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が感心を持てる行事の実施及び方法の検討をする。 ・ 新規事業の計画を検討していく必要がある。 		
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害（地震・洪水）に対応できる畝部地域を目指して。の活動を推進していく。 ・ 楽しんで活動できる事業を展開していきたい。 		

活動の様子



県道239号線美化活動



上中通学路の整備



ホームページ
の作成



畝部フェスタの開催



ふれあいマレットゴルフ大会



わくわく事業活動報告

団体名	せせらぎ遊歩道愛護会		
事業名	新矢作緑道環境美化事業		
会員数	39名	主な活動場所	新矢作緑道（畝部西町地内）
事業費(補助額)	89,500円（80,000円）		
【主な用途】	除草剤、花の苗、肥料、剪定道具、燃料、お茶、保険料		
事業目的	<p>豊田市が行う委託管理のみでは行き届かない為、新矢作緑道の除草、低木の剪定、せせらぎの清掃及び花壇の維持管理を行い、緑を守り育てることにより都市景観の向上を目指すとともに、地域住民の良好な居住環境を維持し、散策・ウォーキングなどの身近なレクリエーションの場を提供することで、より良い地域づくりに貢献する。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道の除草、せせらぎの排水口の清掃 ・ 花や植栽による環境美化 ・ 交通安全に配慮した道路環境の整備 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境美化及び保全を目的とした活動をすることにより、地域住民の環境保全に対する意識の向上を図ることができた。 ・ 良好な住環境の構築が図られ、地域への関心及び愛着が高まり、より良いまちづくりへの関心を高めることができた。 ・ 環境美化・景観保全活動によって、地域住民の交流が図られるとともに、とりわけ高齢者の地域への参加・貢献意識が醸成された。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ禍の影響下の中で事業計画を共生させ、人数制限したり役員のみでの実施にしたりで事業を計画通りに進めることが出来た。今年度も住環境、景観保全維持に努め自治区とも連携し活動を行い、組編成をして役割分担し個人負担の軽減を図る活動計画を立て実施したが、自治区内の他の行事とも重なり調整に苦慮をした。 ・ 会員も高齢化し脱会者もある状況下で、募集はしているがなかなか応募者がいないのが現状です。 		
今後の取組	<p>これまで築き上げてきた景観と環境保全の維持・向上を図るため、また高齢者の生きがいや交流の場として継続的に活動していきたいと思えます。</p>		

活動の様子

春の樹木剪定



花の植替え(春)



低木の剪定



遊歩道の清掃



花の植替え(秋)



花壇の手入れ(女性部)



活動メンバー



わくわく事業活動報告

団体名		高嶺まちづくりの会	
事業名		たかねふるさとまつり	
会員数	12名	主な活動場所	高嶺地区（小学校周辺）
事業費(補助額)		412,440円(371,000円)	
【主な用途】 子どもたちによる米作り体験、高嶺ルビーの花 栽培・観賞			
事業目的 <ul style="list-style-type: none"> ・米作りを通して子どもたちとのふれあい体験・学習の場をつくる ※ 高嶺ルビーの栽培と観賞の場のPRと紹介 ※ 地域のつながりが深める機会にしたい、子どもから高齢者と三世代が集える「ふれあいと安心安全の場づくりを」まつりを通じて繋ぐ（3年連続で中止にせざるをえなかった・コロナ禍で） 			
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ◎米作り体験 = 子どもたちの手による「田植え」「稲刈り」「収穫」をさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 収穫したもち米を餅にして喜びと楽しみを味わう ・今年も手作業体験は、機械作業の見学中心で実施 ◎「高嶺ルビー」（赤いそばの花）の栽培と観賞 			
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・そばの花「高嶺ルビー」の栽培地の観賞のPRを回覧した。 昨年より種をまくことができたけれど、天候の関係で少しすくない赤い花が咲いた栽培地となった。来年は個人で栽培したいので、種を欲しいという方が増えた。 ・子どもたちの米作り体験活動はコロナ禍では「田植え」は見学のみ、「稲刈り」は手刈りの体験を一部のみ行うこととし、収穫は機械で行う。「ふるさとまつり」で振舞う餅のもとになる予定も、まつりは中止と決した。もち米は、餅にして今年も子どもたちに配ることにした。 			
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとまつりは地域の人々が集って、楽しむ場所・機会となるふれあいの場に地域の安心安全を願うまつりにしたい。（コロナの終息を願うのみ） ・そばの花の栽培は、地域で観賞を楽しみ、自分たちも花を咲かせたいと種を欲しい方が増えてきたので、種を取って皆に配布出来るようにしたい。花を見せるだけでなく、たくさんの種が収穫できるように管理も会員で行えるようにしたい（場所の提供者を探すことも重要になる）。 			
今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「高嶺ルビー」を栽培し、花を咲かせ、もっと地域の人にPRと収穫できた種を配布し、地域の人と一緒に「赤いそばの花」を地域いっばいに咲かせたい。 ・子どもたちに「米作り体験」と、収穫した米を利用した「ふれあいまつり」を実現させ、喜びと楽しさを味わいたい。 			

活動の様子 米作り体験活動と高嶺ルビー(赤いそばの花)栽培



令和4年度 わくわく事業活動報告

団体名	川田まちづくり		
事業名	柳川瀬緑道美化事業		
会員数	20 名	主な活動場所	柳川瀬緑道歩道周囲
事業費(補助額) 454,104円 (408,000 円)			
【主な用途】 燃料・培養土・肥料・花苗・防草シート・固まる土等の購入			
事業目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳川瀬緑道周囲の美化を向上させて <p style="text-align: center;">潤いのある安全で安心なまちづくりに寄与する。</p>			
主な活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道周囲の草刈・除草(草を生やさない活動) ・ 季節の花植栽管理(基本 2回/年) 芝サクラ植え替え・補植 ・ 歩道の清掃(1回/月)・せせらぎ除草(2回/年) ・ 草が生えない対策(固まる土・防草シート施工・人工芝(流用)施工) 			
活動の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道周囲が綺麗になることで歩行者の方でゴミ・吸い殻のポイ捨てが少なくなりました。(不法投棄パトロール実施) ・ 花を育てることで高齢者の方も生きがいを感じて下さっています。(散策される皆さんからの『ありがとうございます』が励みになります) 			
課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢となり腰を曲げての長時間の植栽作業が大変でした。 ・ 暑い時期のエンジン機の草刈作業はきつかったです。 			
今後の取組			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 花壇の世話・草刈作業を継承頂ける方を地域外を含め発掘。 ・ 草刈作業も電動化して負荷軽減化(草刈場所の限定も含め)を図りたい。 			

令和4年度『川田まちづくり』活動の様子

柳川瀬緑道美化活動範囲



わくわく事業活動かんばんの設置 4箇所



歩道回り草刈作業 年5回



草生え防止 (防草シート敷き)



花の植栽 年2回 (個人管理花壇 27区画)



見栄え向上 (人工芝公園更新時の流用)



歩道へ草が延びてくるのを防ぐ

縁石が草に覆われている



アゼ板・固まる土で仕切る



水が溜まらないよう水路確保



攪拌機で作業軽減



わくわく事業活動報告

団体名 家下川リバーキーパーズ	
事業名 地域の川で遊ぼう、生き物のすむ川を作ろう	
会員数 8名	主な活動場所 上郷地区 家下川ほか
事業費(補助額) 51,400 円 (46,000 円)	
【主な使途】 作業用物品(コテ、手袋、草刈り機替刃)、原材料(モルタル)ほか	
事業目的 ①生物の生息に適した具体的な川作りの方法を、河川管理者や関係機関と協働し家下川流域の豊かな環境を次世代に繋げる。 ②親子を対象とした川遊びイベントを通し、自然と親しみ「ふるさと意識」の芽を育てることで地元の自然の魅力を発信する。 ③生物調査やアシの刈取りを定期的実施し、水辺の環境状態を正しく把握し関係機関と共有することで課題解決を図る。	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・家下川の川遊び場での草刈り作業(4回) ・川遊びイベント 家下川たんけん隊(7月2日) ・畝部小学校 生き物観察会(9月10日) ・中大排水路 魚道修繕作業 	
活動の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・家下川内のヨシの刈取り、法面の草刈りを行い、地域の子どもたちが安全に川で遊べる場を維持することができた。 ・子育て支援施設、小学校と連携し、子どもたちが地域の自然と親しむ機会を提供できた。夏休み期間などには、イベント外でも川遊びをする親子の姿が見られた。 ・破損していた中大排水路の魚道を修復し、水路内での生物の行き来ができるようになった。作業時には河川管理者や行政機関と連携し、状況の共有を図ることができた。 	
課題 <p>家下川内のヨシについて、人力での刈取りでは、川遊び場の維持が対応しきれない状況にある。現状では刈取り頻度を年4回に増やし、協力団体とともに定期的な刈取りを行っているが、刈取り後1ヶ月程度しか効果が得られない。枯れたヨシの腐葉土化やベース化(陸地化)が進行していることから、部分浚渫等の根本的な解決方法が望まれる。</p>	
今後の取組 <p>次年度は、中大排水路の魚道上流区間の改修工事が予定されていることから、関係機関と共に、修繕後の魚道の利用状況調査、工事着工前の水路内の生物調査および避難作業を計画している。また、令和5年3月には矢作川の堤防補強工事も終了見込みであるため、令和4年度に工事スケジュールの都合で中止となった矢作川たんけん隊も再開する予定である。</p>	

活動の様子

◇川遊び体験・イベント（家下川たんけん隊、畝部小土曜学級）



◇川遊び場の整備作業

ヨシの刈取りや法面の草刈りを定期的に行い、安全に川遊びできるように遊び場の維持整備を行った。



作業中



作業後

◇中大排水路魚道の修繕作業

経年劣化により魚道が破損し魚が上流に登れなくなっていたことから、破損個所の補修を行いながら魚道のリニューアルを行った。



補修前



補修後

わくわく事業活動報告

団体名	キッズプランナー	
事業名	みんなであそぼう！たのしもう！（みんなで子育て事業）	
会員数	17名	主な活動場所 上郷交流館・畝部小学校・柳川瀬子どもつどいの広場
事業費(補助額)	350,000円（315,000円）	
【主な用途】	・親子遊びイベント、親支援講座、小学生居場所づくり講座等報償費 ・行事保険等保険料 ・チラシ用コピー用紙等消耗品費	
事業目的	事業目的 「子どもの健全育成を図る」	
	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進 ②地域を巻き込み、つながりを持ちながら子育てできる環境づくりや世代間交流の促進（地域をつながり・子育て力の強化） ③同じ境遇の子育て親子の育児ストレスや不安を解消できる環境づくり（親支援） ④家に閉じこもりがちな子育て親子の呼び込み ⑤園児・小学生の講座開催や居場所づくりによる健全育成 	
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントの開催（人形劇・コンサート・親子遊びの会など） ・親支援事業（共通の課題を持つ親同士の交流、情報交換） ・園児・小学生の講座開催による子どもの健全育成 ・地域とつながり、世代間交流会の開催（地域の居場所づくり） ・ボランティアの育成 	
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントは、定期的に開催することにより、今年は定員を増やし毎月30組～40組親子の参加があった。地域の同世代の親子がふれあえる場のニーズを感じた。（孤立や育児不安解消） ・親支援では、共通の課題を持つ親子の少人数（10組程度）の交流により、情報や悩みの共有ができて、専門的な知識の習得や前向きな育児や親同士・子ども同士のふれあいにつながった。 ・小学生の居場所づくりでは、地元の小学校が会場という安心感もあり、1～6年生まで幅広い参加があった。子ども同士で協力する姿が見られたり、地域講師との交流も図れたりした。 ・心配な親子を、社会福祉協議会上郷出張所に繋ぎ、情報共有することができた。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化やコロナの影響のなか、親子の孤立の防止や育児ストレスの解消を図れる活動を工夫し行うこと（同年齢の子を持つ親・子ども同士の交流、育児情報の提供、育児相談など）の必要性。 ・コロナ禍での子どもの活動の場所の減少や体力低下など、地域課題解消への取組みの必要性。 ・子育て親子や小学生だけでなく、いろいろな世代が安心して繋がれる居場所の必要性。 	
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成と共に、親支援にも力を入れ、地域課題である親子の孤立や子育ての不安の解消となるような活動の強化。 ・園児・小学生の講座開催による健全育成や地域とつながり、世代間交流会の会の開催の工夫（地域で子どもたちを見守る場所づくり、環境づくり）。 ・地域への情報発信の方法、地元との繋ぎの工夫。 	

活動の様子



親子向けイベントの開催 @上郷交流館

令和4年 4/8 5/13 6/10 8/26 9/9 10/14 11/11 12/9

令和5年 1/13 2/10 3/10(予定)



親支援 @柳川瀬子どもつどいの広場

令和4年 4/14 5/11 5/12 6/9 6/14 7/7 8/11 9/8 10/6 11/10

12/8 12/13

令和5年 1/12 2/12 2/17 3/9(予定) 3/14(予定)



小学生・地域の居場所づくり @畝部小学校

令和3年 5/28 6/18 7/30 9/10 10/29 11/12 12/10

令和4年 1/28 2/23 3/4(予定)

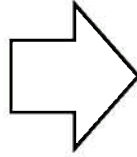
団体名	元気の出る森づくりの会		
事業名	地域の人たちで、空き地を利活用できる環境整備		
会員数	34 名	主な活動場所	鴛鴨町上高根地域
事業費(補助額)	574,342 円 (516,000 円)		
【主な用途】	土留め工事、草刈り機購入、肥料、花苗、保険料、飲料水等		
事業目的	<p>▲高根地区に子どもが遊べる広場、地域の皆さんが集えるコミュニティの場所づくりに向け、環境整備を推進する</p> <p>▲環境整備の一環として花壇を拡充し、「花いっぱい運動」を展開することで、散歩しながら景観を楽しめるやすらぎの場所にする</p>		
主な活動内容	<p>▲広さ5, 200㎡のうっそうとした、雑木林を整備してきた</p> <p>▲散策道の整備・・エマファルトを敷き足元を安定化する</p> <p>▲散策道に手摺りの設置・・子ども、お年寄りも安全に歩けるようにする</p> <p>▲花苗などを植え付け、景観を向上させて楽しみながら散策できるようにする</p>		
活動の成果	<p>①活動を通してボランティアメンバー相互のコミュニケーションが向上できた</p> <p>②子ども・お年寄りも自由に安全に散策できる環境整備を推進できた</p> <p>③近隣の子も達が広場で遊ぶ光景や、散歩する人が増えてきた</p>		
課題	<p>▲34名のボランティアメンバーの平均年齢77歳以上と高齢であり、体力的に無理がきかない。又今後も環境を維持管理するためにも、後進の育成が直近の重要課題です(今年度は、人づてに2名が新規加入)</p> <p>▲ボランティアメンバーの輪がなかなか広がらない</p>		
今後の取組(活動内容)	<p>1、 環境の維持管理・・樹木の剪定、草刈り、草花の肥料・花苗の植栽・水やりなど</p> <p>2、 花壇の整備・拡張と花苗の植え付けなど</p>		

活動の様子

土留め工事前の状況



土留め工事後



皆んなで花壇の整備



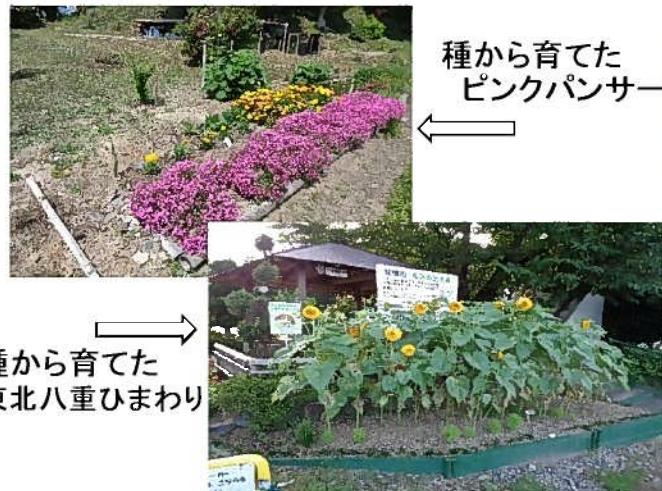
側溝ベンチに漫画描き(全32脚)



花壇の拡充(芝桜園)



元気の出る森づくりの会の休憩所(東屋)



わくわく事業活動報告

団体名 豊栄町一区自治区区誌編纂委員会	
事業名 豊栄町一区自治区区誌編纂事業	
会員数 13名	主な活動場所 豊栄町一区 区民会館ホール・談話室
事業費（補助額） 1,102,320円（992,000円） 【主な使途】 デザイン製作・ドローン空撮委託費、パソコン用インク代、行動旅費、など	
事業目的 ①自治区の歴史や実績をまとめて後世に伝えていく。 ②自治区の歴史や現況を理解することにより区民としての誇りと愛着心を育み、参画意識や隣り近所が助け合う[近助]の精神を高め、自治区の末永い安定と発展への一助とする。	
主な活動内容 <ul style="list-style-type: none">・資料収集・調査、町内施設・商店・事業所などの写真撮影、区誌原稿の作成。・「ふじやぶの未来、わが町・わが家の大好き」をテーマに小学生・一般区民から作品を募集。・小学生・区民が参加して「絆」の人文字を作り、ドローンによる撮影会を実施。・古老者等への取材。 ・協賛広告のお願い。・委員会（2カ月に一回）・事務局会議（毎月一回）の開催。など	
活動の成果 <ul style="list-style-type: none">・区誌作成について、自治区を通じタイムリーに区民へ周知することにより関心が深まった。・取材活動、調査により区の歴史や先人たちの苦勞を知ることができた。・ドローン撮影会により3世代が集まり、区民交流の機会となった。	
課題 <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍による行動制約や古い資料・写真を集めるのに苦勞した。・ドローン撮影会の日程調整、人集めに苦勞した。・区誌を令和5年8月を目途に完成させること。	
今後の取組 <ul style="list-style-type: none">・区誌の最終校正、デザイン、レイアウトを決定し、本年8月発刊を目指す。・小学生・区民からの応募作品（60点）を自治区行事（防災ふれあいまつり）にて展示する。・区誌を題材に希望者を募り、「豊栄町一区の歴史を語る会」（仮題）を開催する。・今後の区誌活用方法について、委員会で協議し、自治区や各団体と連携を図っていく。	

活動の様子

委員会開催（区民会館ホール）



事務局会議（区民会館談話室）



絆の文字線引き作業

使用されたドローン

区誌委員から注意事項の説明



ドローン撮影会のために区民会館広場に集まった区民の皆さん



令和4年度 わくわく事業活動報告

団体名	竹の会	
事業名	地域竹やぶの環境整備	
会員数	40名	主な活動場所 豊田市鴛鴨町 地内 馬場川沿いの竹林 延べ面積(9500㎡)
事業費(補助額)	168,698円	(143,000円)
【主な用途】消耗品(竹切鋸の替刃、チェーン替えチェーン他)、燃料費(草刈機、チェーン、軽トラ)、食糧費(お茶代)		
事業目的		
<ul style="list-style-type: none"> ①地域竹やぶの環境整備により生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全の意識向上に貢献。 ②会員の余暇活用による健康保持及び地域の人達とのふれあいと子ども達への支援交流。 ③竹炭、竹酢酢、竹細工づくり、不要な竹の焼却処分後の竹炭の活用(土壌改良用として地域へ提供)。 ④竹やぶ内の不法投棄清掃処分による清潔な環境づくり、不法投棄撲滅に向けた活動。 		
主な活動内容		
<ul style="list-style-type: none"> ①竹の間伐、竹炭づくり、草刈、畑土壌改良用竹炭づくり、会員親睦ミニ門松づくり。 ②小学校のビオトープ整備と稲干しのハザ掛けづくり、こども園、小学校への七夕の竹提供。 ③間伐(タケノコの状態で処分)、不法投棄清掃処分(3回) ④恒例のこども園の竹馬づくり支援、自治区総会記念品の竹炭づくりは実施予定。 ⑤不法投棄防止の取組み、看板の効果は少ない、自治区に依頼、区長、副区長による現場視察、「自治区だより」の回覧で全戸に不法投棄防止の呼びかけ、監視カメラの依頼、設置完了。 		
活動の成果		
<ul style="list-style-type: none"> ①作業の効率を上げる為、4月～6月整備済の土手に生えたタケノコ、細い竹を鎌や草刈機で処分 竹林内ではタケノコの間伐、細い若竹は刈倒しなどを実施。(成長したタケノコ処分には工数がかかる) ②竹やぶへの不法投棄の減少(座椅子1ヶ、収納ケース、布、布団) ③コロナ禍での活動であったが用水路、通学路などの整備により地域貢献が出来た 		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> ①整備後の維持管理作業(間伐、草刈り)が今後は大半の作業になるが、新規会員が入らない、現会員も高齢化しているので続けて行けるかが最大課題。 ②新規会員の獲得困難(自治区総会等で声かけしても応募者がいない) ③不法投棄は激減したが、まだ一部の人投棄している。(同じ場所、同一人物と思われる?) 		
今後の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ①間伐と草刈りに重点を置き更なる環境維持活動を進め、地域の安全、安心、憩いの場を目指す。 ②新規会員の募集、今後も「自治区だより」に掲載の依頼と現会員による声かけの実施。 ③会員による地域活動への積極参加(こども園、小学校行事、自治区行事等)。 		

竹の会 (令和4年度 活動内容)

2023. 1. 30

①-1 竹やぶ周辺整備

車道・農道、農業用水、通学路周辺の整備(不要の竹ノコ・若竹間伐、雑草処理他)



①-2 自治区主催<ふれあいウオーク支援>

孟宗竹林参観コース & 花壇の整備

雨天の中:参加者120名



②-1 竹の活用

ミニ門松作り(会員相互の連携強化)

地域住民も参加



②-2 こども園、竹馬作り支援

竹馬作りのお手伝い!

コロナ禍、運動場で実施



②-3 竹の活用

小学校、稲干し用ハザ掛けづくり



②-4 竹の活用

竹炭づくり(総会で配布)



竹炭パック詰め400個作製

②-5 竹の活用

焼却処分後の竹炭の活用



③ 竹やぶ内の不法投棄清掃処分(3回)



わくわく事業活動報告

団体名	渡刈町サポート会		
事業名	環境ふれあいサポート総括事業		
会員数	49名	主な活動場所	渡刈町地内
事業費（補助額）	499,050円（373,000円）		
	【主な用途】鳥狩塚の伐採委託費、燃料、肥料、花の種、軍手、作業のお茶 など		
事業目的	<p>①学童通学路付近の草刈り及びゴミ拾いをして、安全、安心、クリーンな登下校通学路とする。</p> <p>②ゴミステーション及び花畑（元ゲートボール場）付近の草刈り等により、環境美化に努める。</p> <p>③子供の自然に触れ合う遊びの場が少なくなったため、「ビオトープ」と花畑付近一帯等の整備により、子供たちを始めとした地域の方々の“憩いの場所”として自然環境を保全・創造して次世代に継承する。</p> <p>④アルミ缶回収を継続する。</p> <p>⑤鳥狩塚の整備作業をする</p>		
主な活動内容	<p>①『エコ堆肥でふれあい花畑』の継続。</p> <p>②学童通学路付近、ゴミステーション及び花畑付近の草刈りとゴミ拾いをする。</p> <p>③鳥狩塚の整備作業をする。</p>		
活動の成果	<p>①「クリーンサポート」事業は、年末の渡刈町役員による年末特別美化活動への協力参加まで含めて、20回（1月31日現在）の活動実施によりサポート会の活動が少しずつではあるが町民に周知されてきた。通学路で見守り隊活動中のゴミ拾いは、他地区も同様のゴミ拾い活動に参加して頂き、今後一層の広がりを感じたい。</p> <p>②「エコ堆肥でふれあい花畑」事業は、区民会館北隣の広場を借用して花畑作業（ひまわり、菜の花の種まき）とエコ堆肥作業の実施により、環境美化での回収した刈り取った草のエコ堆肥化活用等で町民へのリサイクルの意識に貢献？。</p> <p>③「アルミ缶回収活動」アルミ缶つぶし機の再製作により作業対応は良好となり、活動資金の不足金に貢献できた。</p> <p>④鳥狩塚の木の伐採を業者に委託し、2/3程度の雑木林の間伐及びその片付けが完了したが、伐採後の回収撤去に想定以上の時間がかかり、伐採木は近隣の「暖炉の会」に再利用を依頼して有効活用及び効率撤去ができた。今後は残りの木の伐採及び散策道の整備に取り組む。</p>		
課題	<p>①エコ堆肥でふれあい花畑事業の雑草対策に時間がかかり、作業の増員割振り対応が必要。</p> <p>②鳥狩塚の整備に手間がかかり、当初計画を3年で計画するも1年間？の延長予定。</p> <p>③会員の高齢化により、参加会員数の伸び悩み。</p>		
今後の取組	<p>①「エコ堆肥でふれあい花畑」を継続する。</p> <p>②学童通学路付近、ゴミステーション及び花畑付近の草刈り及びゴミ拾いをする。</p> <p>③アルミ缶回収を継続する。</p> <p>④鳥狩塚整備作業を継続する。⇒雑木林の間伐、散策道の整備、記念碑の設置、花木の育成により「憩いの場」として、整備作業をする。</p>		

活動の様子

通学路の草刈り



花畑の草刈り



アルミ缶つぶし



鳥狩塚の整備



鳥狩塚での業者による伐採作業



鳥狩塚での業者による伐採作業



鳥狩塚の整備開始時('20年8月)



鳥狩塚の整備現在('23年1月)



わくわく事業活動報告

団体名	おしかも ほたるの会		
事業名	蛍を養殖し、自然環境の大切さを学ぶ		
会員数	29名	主な活動場所	鴛鴨町内
事業費(補助額)	165,420円 (140,000円)		
【主な用途】	蛍の幼虫および水質浄化の麦飯石の購入		
事業目的	<p>町内の馬場川周辺に蛍が自然発生する環境を再現する。 また自然環境の大切さを地域の住民、特に子供たちに啓発する。</p>		
主な活動内容	<p>①蛍の養殖地の維持管理および増設 ②蛍の餌の「カワニナ」の養殖 ③生育環境と施設の整備 ④蛍の飛翔観察と環境調査（恩田・風など） ⑤近隣の養殖施設訪問（下山）</p>		
活動の成果	<p>①養殖地の維持管理活動（毎月第三土曜日） ②「カワニナ」の養殖（飼育容器の水替え） ③養殖池の泥処理、周辺の補修 ④自治区行事（ふれあいウォーク）で自然環境保全の大切さを説明</p>		
課題	<p>①蛍を自然発生させる環境の維持 ・自然水（湧き水）の減少 ・夏場の幼虫の管理（水温など） ②蛍の生態、養殖の知識不足 ③後継者不足 ④飛翔観察者の安全確保</p>		
今後の取組	<p>①馬場川周辺の環境整備（定期的に） ②蛍養殖の「生きた知識」を得るための先進地域との交流 ③地域住民への「さらなる情報」発信により自然環境保全のPRと後継者確保 ④夏場の幼虫の生育管理の検討</p>		

活動の様子



馬場川の整備とカワニナ採取



養殖地周辺の草刈りおよび水路確保



養殖池の水草や汚泥の除去



蛍の幼虫および餌のカワニナの養殖施設の維持管理

※

わくわく事業活動報告

団体名	永覚新町お助け隊							
事業名	高齢者世帯への支え合い取組事業							
会員数	15名	主な活動場所	永覚新町自治区					
事業費(補助額)	111,123円 (82,000円)							
【主な用途】	胴ヘルメット(セグレス 301)、剪定枝打鋸、傾聴ランチ会など							
事業目的	<p>自治区会員の後期高齢者を始め、日常生活で困っている事に対して、支え合いや助け合いができる地域づくりを目指す。高齢化率 23.6% (2022/12/1 現在)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 高齢者夫婦世帯</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">対象者</td> </tr> <tr> <td>2. ひとり暮らし登録者の方</td> </tr> <tr> <td>3. 身体に障がいのある人</td> </tr> </table>			1. 高齢者夫婦世帯	}	対象者	2. ひとり暮らし登録者の方	3. 身体に障がいのある人
1. 高齢者夫婦世帯	}	対象者						
2. ひとり暮らし登録者の方								
3. 身体に障がいのある人								
主な活動内容	<p>①後期高齢者夫婦世帯を初め、御用聞き活動を3ブロック分担制(3回/年)活動</p> <p>②ボランティア会員に対して、「刈草作業と庭木(樹木)剪定講座」受講(3回目)と現地での丁寧な作業しながらポイントの説明。</p> <p>③高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし登録者へのお助け隊活動案内チラシ配布及び広報とよた配布時に自治区内回覧とボランティア会員の募集(4回/年)</p> <p>④「傾聴講座」受講者による「傾聴ランチ会」(高齢者への寄り添い活動)を開催</p>							
活動の成果	<p>①ボランティア会員と対象者とが顔見知り関係となってきた。 お助け隊活動のキックオフ(関係部署交流会)で会員間との意思統一が図れた。 気に掛けていた人への御用聞き活動で初めて声掛けてできて困り事を確認できた。</p> <p>②お助け隊会員の「庭木剪定作業」技能レベル向上した。(垣根、松の枝剪定の仕方)参加者の日常生活での花木剪定作業の質疑が多くあり有意義な講座となった。</p> <p>③後期高齢者のひとり暮らし者3名(男1、女2)の庭木剪定、家周り草刈作業により、不要物が撤去できた。(会員が自治区軽トラで渡刈クリーンセンターへ搬送した。)</p> <p>④「傾聴活動」で困り事を知れた。参加者と会員と一緒に料理を作って食事して、笑顔いっぱい会話弾んだ。</p>							
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・困り事の相談件数が増えてこない。(お助け隊の出動回数8回で、依頼が単発) ・すぐ役立つ「傾聴講座」の修了者が、3名で少ない。(受講者数を増やす) 							
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者やひとり暮らしの対象者に対して、年間定期活動とする。 (リピーターと新規依頼者の開拓をする) ・女性部ボランティア会員で心のケアとして、「傾聴活動」の年間計画を作成する。 							

活動の様子

お助け隊活動キックオフ(7/1)



御用聞き活動と体調いかがですか



庭木剪定作業と不要物の撤去



「庭木(樹木)の剪定講座」(10/15)



「傾聴ランチ会」開催 傾聴活動ののちみんなで調理、楽しく会食



わくわく事業活動報告

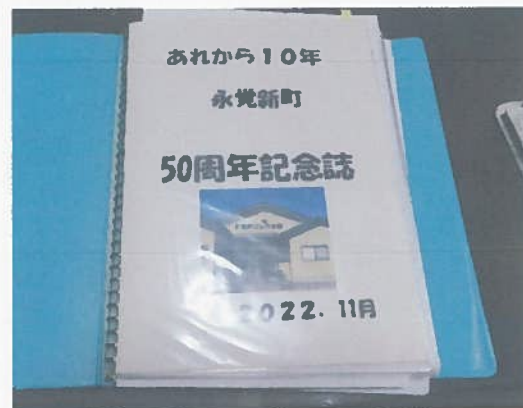
団体名	永覚新町記念誌編集委員会		
事業名	永覚新町50周年記念誌編集事業		
会員数	10名	主な活動場所	永覚新町ふれあいの館
事業費(補助額)	1,160,080円 (1,000,000円)		
【主な用途】	記念誌製本、印刷代、USB購入		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度が自治区制定50周年であり、平成20年11月に発刊した40周年記念誌に続く50周年記念誌を発刊する ・近年自治区役員の担い手がなく記念誌をツールに自治区への理解と愛着を深めて貰う 		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・50周年実行委員会設立の中で記念誌発刊配布する ・テーマを決め役割の分担を情報収集、レイアウト、校正、印刷会社打合せをする ・記念誌を役員交代時のツールになるように校正する 		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・永覚新町の歴史を振り返る中で改めて先人の方々の開拓時の苦勞を知ることができた ・各団体の年間計画を載せ活動が明確になり役員交代時のツールができた 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・記念誌を作っていく中で自治区の事業の記録は残っているものの近年変化が激しい町内の変化が残されていないことが分かった ・情報収集する中で個人情報の感覚が年代によって異なり女性が特に写真に注意を要した 		
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・次回60周年記念誌が発刊されると思いますが担当される方々の為に町内の変化だけでも情報を入手保存など考え、より良いものを残していきたい 		

活動の様子

40周年記念誌に引き続き50周年記念誌を発刊を令和4年12月に設立



モデルの40周年記念誌



100頁狙いの仮の記念誌



自治区の活動歴史を記載



使えるものに"地震対策"



団体の事業を記載



写真を多く記載



写真検討中の編集委員



完成間際の記念誌

**令和4年度 上郷地区・末野原地区
わくわく事業 活動報告書**

発行/豊田市 上郷支所